



渥美線カラフルトレイン

1年を通じて様々な花が咲く渥美半島。ここに訪れる方へ「渥美線カラフルトレイン」が、旅に彩りを添えます。「渥美線カラフルトレイン」は、咲き誇る渥美半島の花々をデザインした10色のカラフルな電車です。さて、あなたは何色に乗って渥美半島へ旅立ちますか。

※車両検査等の都合で、花の時期に運行出来ない場合があります。
※車両の運行ダイヤはご案内いたしかねます。ご了承ください。



桜【1809号】
向山緑地(豊橋市)や滝頭公園(田原市)では多くの花見客で賑わう



つつじ【1803号】
豊橋市の花として公園や道路に多く植えられている



ばら【1801号】
農業産出額では、田原市は市町村別で全国トップレベル



菊【1810号】
農薬菊のハウスの灯りが美しく渥美半島を彩る



菜の花【1807号】
田原市の花として、渥美半島に早春を告げる花



しでこごし【1806号】
藤七原湿地植物群落は、田原市の天然記念物に指定



椿【1808号】
つばき公園(田原市)では200種500本の椿が楽しめる



ひまわり【1804号】
夏に道路沿いやサンテバルクたはらなどで楽しめる



菖蒲【1805号】
賀茂しょうぶ園(豊橋市)や初立池公園(田原市)で梅雨の時期に楽しめる



はまぼう【1802号】
自生北限である田原市堀切町の自生地は愛知県天然記念物に指定



サイクルトレイン

- 実施日：土・休日／始発～終電までの全列車
平 日／時刻表発車時刻10時00分発～14時59分発までの全列車



- ※但し、以下の日を除きます。
 - ・豊橋祇園祭の打ち上げ花火の日(7月中旬の土曜)
 - ・豊橋まつり(10月第3土曜、日曜)
 - ・上記除外日の他にも、行催事等により車内が混雑する場合は、安全上の理由からご利用をお断りする場合がございます。あらかじめご了承ください。
- 利用料金：ご乗車区間の運賃に加え、自転車持込み料金100円/台が必要です。
- 持込制限：1列車あたり10台まで
- ※同一グループで1列車に5台以上でご乗車される場合は、前日の17時までに高師駅(☎0532-45-4927)へご連絡ください。

おトクなきっぷ情報

▶ 1DAYフリーきっぷ

利用可能日・時間●通年
発売価格●大人1,100円/小児550円
通用期間●1日
発売箇所●新豊橋駅、南栄駅、高師駅、大清水駅、三河田原駅



▶ 豊橋・鳥羽割引きっぷ

利用期間●通年
発売価格●大人2,500円/小児1,250円
利用区間●渥美線・豊鉄バス(豊橋駅前～伊良湖岬)+伊勢湾フェリー(伊良湖～鳥羽)間の1乗車
通用期間●使用開始日から2日間
発売箇所●新豊橋駅、南栄駅、高師駅、大清水駅、三河田原駅、豊橋駅バスセンター、伊勢湾フェリー鳥羽のりば

※豊橋(新豊橋駅、豊橋駅前)～田原(三河田原駅、田原駅前)は、電車・バスどちらでも乗車できます。
※豊鉄バス「休暇村」、「保養所入口」、「ゴルフ場前」、「伊良湖シーパーク前」各停留所で途中下車できます。
※伊良湖発のフェリーの時刻を必ずご確認ください。(伊勢湾フェリー伊良湖のりは☎0531-35-6217)また荒天等により欠航になる場合がございます。
電車・バスをご利用後の払戻しはできませんのでご注意ください。

渥美半島の観光に関するお問い合わせ

- 渥美半島観光ビューロー
TEL0531-23-3516 <http://www.taharakankou.gr.jp/>
- 豊橋観光コンベンション協会
TEL0532-54-1484 <http://www.honokuni.or.jp/toyohashi/>



〒440-0888 愛知県豊橋市駅前大通一丁目46番地の1 豊鉄ターミナルビル5F
TEL.0532-53-2131代 <http://www.toyotetsu.com>

豊橋鉄道

渥美線 ガイドブック

Atsumi Line GUIDE

渥美線
カラフルトレイン
運行中!



ようこそ！渥美半島へ

渥美半島は、太平洋に沿い伊勢湾方向へ突き出した東西に細長く伸びる半島であり、三河湾国定公園、渥美半島県立自然公園に指定され、海と山に囲まれた美しい自然環境を有しています。中でも蔵王山、伊良湖岬、太平洋ロングビーチなどは、大勢の観光客が訪れる景勝地となっています。

- 渥美線
- 豊鉄バス路線(伊良湖本線)
- 豊鉄バス路線(伊良湖支線)



渥美線の歴史

渥美半島を縦貫する鉄道として、大正11年(1922)に渥美電鉄が設立され、大正13年(1924)高師~豊島間の開業以降延伸を続け現在の三河田原駅まで開業、昭和2年(1927)までに新豊橋駅まで開業しました。その後、渥美電鉄は昭和15年(1940)名古屋鉄道に合併され、名鉄渥美線となりましたが、名古屋鉄道は昭和29年(1954)渥美線新豊橋-三河田原間を豊橋鉄道に譲渡、現在の豊橋鉄道渥美線となりました。昭和34年(1959)伊勢湾台風の際にはその被害により3日間運休、昭和59年(1984)貨物営業の全廃などがありました。平成になってからは全線15分ヘッド運転を実施、平成9年(1997)架線電圧を600Vから1500Vに昇圧、平成12年(2000)ステンレス車両を導入、平成20年(2008)新豊橋駅を、平成25年(2013)三河田原駅をそれぞれ新築移転しました。渥美半島の足として、今日も元気に走っています。

たはら花暦

[]内は田原市内で、主に見られる場所です。(一部豊橋市)

12月	1月	2月	3月	4月	5月
					菜の花[渥美半島一帯]
河津桜[免々田川沿い、伊良湖菜の花ガーデン]					
	シデコブシ[藤七原湿地、黒河湿地、伊川津]				ツツジ[向山緑地(豊橋市)ほか]
		桜[滝頭公園、向山緑地(豊橋市)ほか]			
					ミツバツツジ[滝頭山]
					チューリップ[サンテバルクたはら]
					椿[つばき公園など]
					電照菊

渥美線沿線案内

渥美線は全長18kmの路線で、豊橋市街地から田原市街地を結んでいます。沿線には公共施設や学校が多く、主に通勤・通学路線として利用されています。観光としての役割も大きく、終点の三河田原駅は豊鉄バスによる伊良湖岬へのアクセスの中継として利用されています。

3 田原市博物館 (田原城址)

田原城・二ノ丸跡にあり、渡辺華山や田原藩に関する作品・資料が展示されています。



4 蔵王山

ハイキングロードで頂上に登ると展望台があります。田原市の街並みや三河湾・太平洋が一望できる人気スポットです。



6 三河田原駅

駅舎のコンセプトは、「Start Station (はじまりの駅)」。新しい田原の出発点という思いが込められています。



2 愛知大学記念館 (第15師団司令部跡)

明治の風格が漂う大学記念館(旧本館)。戦前の軍部豊橋の遺構で、多くの方が見学に訪れます。守衛室へお立ち寄りの上、ご見学ください。(休館日注意)



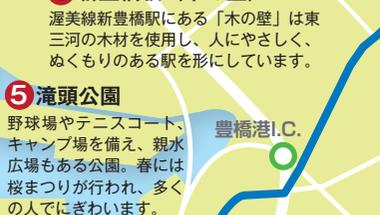
1 新豊橋駅 (木の壁)

渥美線新豊橋駅にある「木の壁」は東三河の木材を使用し、人にやさしく、ぬくもりのある駅を形にしています。



5 滝頭公園

野球場やテニスコート、キャンプ場を備え、親水広場もある公園。春には桜まつりが行われ、多くの人でにぎわいます。



田原市は、愛知県南端(渥美半島)にある市で、気候は黒潮の影響により温暖です。市内には伊良湖岬をはじめ自然のビュースポットが多数あります。田原市街地は巴江城(はこうじょう)と呼ばれた田原城址を中心に散策を楽しむことができます。

豊橋市は、江戸時代まで市の中心部は吉田(よしだ)と呼ばれ、東は弓張山系を境に静岡県と接し、南は太平洋、西は三河湾に面しており、豊かな自然と温暖な気候に恵まれています。史跡・観光名所も随所があり、手筒火火の発祥の地といわれる吉田神社もあります。



渥美線全線でご利用いただけます

交通系ICカード 全国相互利用のシンボルマーク manacaは、このマークのある全国の鉄道・バス・お店などでご利用いただけます

- は駅係員配置駅(終日)
- は駅係員配置駅(早朝・夜間を除く)
- は無人駅(終日)
- 内は新豊橋駅起点の営業キロ
- 運賃と所要時間は、新豊橋駅起点 2019年10月1日現在